

## 2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社AVANTIA 上場取引所 東名  
コード番号 8904 URL https://avantia-g.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沢田 康成  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 樋口 昭二 TEL 052-307-5090  
四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第1四半期の連結業績 (2023年9月1日~2023年11月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	15,133	48.4	38	△35.6	40	△39.1	75	133.8
2023年8月期第1四半期	10,195	11.3	59	-	66	-	32	-

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 79百万円 (275.9%) 2023年8月期第1四半期 21百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	5.27	-
2023年8月期第1四半期	2.26	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	71,441	27,431	38.4
2023年8月期	70,863	27,623	39.0

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 27,431百万円 2023年8月期 27,623百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	19.00	-	19.00	38.00
2024年8月期	-	-	-	-	-
2024年8月期(予想)	-	19.00	-	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	24.4	800	39.0	800	33.9	520	46.8	36.37
通期	70,000	20.4	2,400	24.9	2,400	22.3	1,550	25.5	108.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	14,884,300株	2023年8月期	14,884,300株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	586,455株	2023年8月期	586,455株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	14,297,845株	2023年8月期1Q	14,263,845株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
3. (参考) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあり、個人消費や雇用・所得環境に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、加えて、国際的な紛争などの不安要素を常に抱え、景気の先行きが見通せない状況が続いております。

当住宅・不動産業界におきましては、戸建住宅需要が依然として弱含む傾向となっており、土地価格や建築資材の高騰により、住宅価格の上昇を招いております。さらに、長期金利も上昇トレンドにあり、事業環境はますます厳しいものとなっております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は151億33百万円（前年同期比48.4%増）、営業利益は38百万円（前年同期比35.6%減）、経常利益は40百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は75百万円（前年同期比133.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## (戸建住宅事業)

戸建住宅事業は、当社グループのコア事業として、戸建分譲住宅を中心に、分譲用地の販売や注文住宅の請負等を行っております。当期においては、物件価格の高止まりが続く中、顧客の住宅取得マインドの低迷が長期化したことで、受注獲得には苦戦が続きました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は108億75百万円（前年同期比44.0%増）、営業損失は2億7百万円（前年同期は2億13百万円の営業損失）となりました。

## (マンション事業)

マンション事業は、名古屋市を中心とする利便性の高いエリアに限定した新築の分譲マンションの企画、販売をしております。名古屋市周辺においては、立地による反響の濃淡が色濃くなる中、当社グループでは名古屋市中心部への立地に優れた物件を供給し、自社営業部隊による販売活動を継続することにより、受注の獲得に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8億45百万円（前年同期比580.5%増）、営業利益は71百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

## (一般請負工事業)

一般請負工事業は、当社子会社であるジェイテクノ株式会社、株式会社巨勢工務店、株式会社宇戸平工務店の3社がそれぞれの地域の老舗工務店として、公共事業や民間工事における豊富な実績と高い技術力を活かし、建築工事や土木工事等を展開しております。当期においては、民間工事を中心として受注獲得に努めつつも、公共工事にも積極的に参入したこと等で一部地域においては受注獲得に苦戦するも、総じて堅調に受注、完工が進みました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は10億70百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は46百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、当社が長期ビジョンで目指す「総合不動産サービス」の展開に向け、戸建住宅事業の周辺分野の開拓、育成を進めております。リフォーム工事や不動産仲介に加え、事業用不動産の売買や仲介、リノベーション事業等の領域への拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は23億42百万円（前年同期比80.1%増）、営業利益は2億23百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億78百万円増加し714億41百万円となりました。主な要因は、棚卸資産の増加28億10百万円、現金預金の減少10億81百万円、有形固定資産の減少7億65百万円、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産の減少1億73百万円等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億70百万円増加し440億9百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加12億89百万円、短期借入金の増加1億90百万円、支払手形・工事未払金等の減少3億61百万円、未払法人税等の減少1億31百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億91百万円減少し274億31百万円となりました。主な要因は、配当金の支払2億71百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で2023年10月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の様々な要因によって変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	13,097,491	12,016,390
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	1,639,258	1,465,733
販売用不動産	20,947,143	21,779,568
開発事業等支出金	24,017,224	25,670,706
未成工事支出金	3,864,850	4,192,959
材料貯蔵品	15,282	12,163
その他	429,183	358,872
貸倒引当金	△702	△111
流動資産合計	64,009,731	65,496,283
固定資産		
有形固定資産	3,849,939	3,084,455
無形固定資産		
のれん	1,174,551	1,137,266
その他	221,173	139,833
無形固定資産合計	1,395,725	1,277,100
投資その他の資産		
投資有価証券	416,531	403,360
その他	1,191,553	1,180,630
投資その他の資産合計	1,608,085	1,583,991
固定資産合計	6,853,750	5,945,547
資産合計	70,863,482	71,441,830
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,269,294	1,908,272
短期借入金	24,495,441	24,686,181
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	950,389	828,743
未払法人税等	220,263	88,848
契約負債	2,489,369	2,171,289
賞与引当金	160,243	196,334
完成工事補償引当金	19,157	23,361
その他	1,337,412	1,475,659
流動負債合計	31,961,572	31,388,688
固定負債		
社債	115,000	100,000
長期借入金	10,626,930	12,038,549
その他	536,258	482,752
固定負債合計	11,278,188	12,621,301
負債合計	43,239,760	44,009,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,732,673	3,732,673
資本剰余金	2,973,813	2,973,813
利益剰余金	21,419,560	21,223,308
自己株式	△543,910	△543,910
株主資本合計	27,582,138	27,385,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,583	45,954
その他の包括利益累計額合計	41,583	45,954
純資産合計	27,623,721	27,431,840
負債純資産合計	70,863,482	71,441,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	10,195,722	15,133,780
売上原価	8,548,890	13,232,394
売上総利益	1,646,831	1,901,386
販売費及び一般管理費	1,587,189	1,862,985
営業利益	59,642	38,400
営業外収益		
受取利息	111	339
受取配当金	377	381
受取事務手数料	28,812	20,995
不動産取得税還付金	23,783	18,005
その他	29,471	61,506
営業外収益合計	82,554	101,228
営業外費用		
支払利息	45,409	60,737
シンジケートローン手数料	27,850	13,877
その他	2,647	24,632
営業外費用合計	75,907	99,247
経常利益	66,289	40,381
特別利益		
固定資産売却益	-	49,121
資産除去債務戻入益	823	-
特別利益合計	823	49,121
特別損失		
固定資産除却損	258	4,089
特別損失合計	258	4,089
税金等調整前四半期純利益	66,854	85,413
法人税等	34,608	10,007
四半期純利益	32,246	75,406
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,246	75,406



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	32,246	75,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,020	4,371
その他の包括利益合計	△11,020	4,371
四半期包括利益	21,225	79,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,225	79,777
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. (参考) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間における生産、受注及び販売の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

## ①生産実績

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	8,476,672	81.7
マンション事業	645,809	347.4
一般請負工事業	1,372,111	86.2
その他の事業	5,551,816	680.8
合計	16,046,410	123.7

## ②受注実績

## 受注高

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	14,759,008	145.3
マンション事業	330,581	23.9
一般請負工事業	1,306,102	131.3
その他の事業	2,790,945	206.4
合計	19,186,638	138.2

## 受注残高

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	13,354,760	101.6
マンション事業	232,259	18.0
一般請負工事業	2,690,211	109.7
その他の事業	1,604,617	277.0
合計	17,881,850	102.4

## ③販売実績

	当第1四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	10,875,361	144.1
マンション事業	845,504	680.5
一般請負工事業	1,070,553	87.7
その他の事業	2,342,361	180.1
合計	15,133,780	148.4